

|                         |                 |    |              |      |     |      |
|-------------------------|-----------------|----|--------------|------|-----|------|
| 基礎〈基礎〉                  | クラス             |    | 科目コード        | 配当年次 | 期 間 | 人数制限 |
| 基礎演習Ⅰ                   | PC①/PC②/PC③/PC④ |    | 11201        | I    | 春   |      |
| 担当者名                    | 区分              | 単位 | 科目と関係のある実務経験 |      |     |      |
| 石畠 多恵／森 晴美／中園 佐恵子／渋谷 美智 | 必修              | 1  |              |      |     |      |

### 授業の到達目標

この授業では、大学入学以前に学んだことを復習するとともに、大学で必要なスキル等について学ぶ。この授業では、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とS（奉仕）を養う。

### 授業の概要

前半では、高校以前に学んだことを復習する。基礎学力は大学での学修でも、あるいは卒業後の生活でも必要である。すでに理解していることは確認し、忘れていたことはしっかりと思い出して欲しい。後半では、大学での学修に必要なアカデミック・スキルを学ぶ。大学の授業で必要なこと、そして卒業後社会人として役立つことなどを身に付けていく。また基礎演習後半のクラスが、1年次のクラスとなるので、人間関係を築いて欲しい。

### 授業計画

1. (1)オリエンテーション(大学生としての姿勢)  
(2)言語1
2. オリエンテーション(図書館の利用方法について)
3. (1)言語2  
(2)オリエンテーション(本学の学生としての姿勢)
4. (1)言語3  
(2)キャンパスライフ(クラスでの自己紹介)
5. (1)言語4  
(2)キャンパスライフ(相談)
6. (1)社会1  
(2)キャンパスライフ(課外活動について)
7. (1)社会2  
(2)キャンパスライフ(課外活動について)
8. (1)社会3  
(2)キャンパスライフ(課外活動)
9. (1)社会4  
(2)スタディスキル(受講)
10. (1)数学1  
(2)スタディスキル(理解と表現1)
11. (1)数学2  
(2)スタディスキル(理解と表現2)
12. (1)数学3  
(2)キャンパスライフ(今後の学修について)

13. (1)数学4  
(2)キャンパスライフ(学生相談)
14. (1)確認試験1  
(2)スタディスキル(理解と表現3)
15. (1)確認試験2  
(2)スタディスキル確認演習

### 授業の方法

演習形式

### 準備学修

webで参照すること。

### 課題・評価方法

リメディアル 50% (平常点70% 定期試験30%)  
後半学習50% (平常点70% eラーニング30%)

### 欠席について

3分の1以上欠席した者には受験資格を認めない。

### テキスト

一般常識リメディアルテキスト (育仲社)  
3訂 大学 学びのことはじめ～初年次セミナーワークブック (ナカニシヤ出版)

### 留意事項

リメディアル学習の確認試験では、原則として80点以上をとらなければ不合格とする。欠席1回につき合格点は1点上がる。eラーニングを課題とし、実力診断テスト10クリアすることとする。

### 教員連絡先

ozaki@kaisei.ac.jp

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務j課前掲示板を確認のこと。

|                           |                 |    |              |      |     |      |
|---------------------------|-----------------|----|--------------|------|-----|------|
| 基礎〈基礎〉                    | クラス             |    | 科目コード        | 配当年次 | 期 間 | 人数制限 |
| 基礎演習Ⅱ                     | ET①/ET②/ET③/ET④ |    | 11205        | I    | 秋   |      |
| 担当者名                      | 区分              | 単位 | 科目と関係のある実務経験 |      |     |      |
| 石原 敬子／宮副 紀子／佐伯 瑠璃子／吉野 美智子 | 必修              | 1  |              |      |     |      |

### 授業の到達目標

この授業では、大学入学以前に学んだことを復習するとともに、大学で必要なスキル等について学ぶ。この授業では、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とS（奉仕）を養う。

### 授業の概要

前半では、高校以前に学んだことを復習する。基礎学力は大学での学修でも、あるいは卒業後の生活でも必要である。すでに理解していることは確認し、忘れていたことはしっかりと思い出して欲しい。後半では、大学での学修に必要なアカデミック・スキルを学ぶ。また基礎演習後半のクラスが、1年次のクラスとなるので、しっかりと人間関係を築いて欲しい。

### 授業計画

1. (1)言語1  
(2)今学期の目標を設定する。
2. (1)言語2  
(2)共同作業:大学祭での企画立案と実施。
3. (1)言語3  
(2)共同作業:大学祭での企画立案と実施。
4. (1)言語4  
(2)共同作業:大学祭での企画立案と実施。
5. (1)社会1  
(2)共同作業:大学祭での企画立案と実施。
6. (1)社会2  
(2)レポート作成:参考文献様式の復習。
7. (1)社会3  
(2)レポート作成:参考文献様式の復習と間接引用のやり方。
8. (1)社会4  
(2)レポート作成:間接引用のやり方。要約とは。
9. (1)数学1  
(2)レポート作成:要約をする。
10. (1)数学2  
(2)レポート作成:学生同士で交換し、互いのレポート草稿の添削を行う。
11. (1)数学3  
(2)レポート作成:学生同士で交換し、互いのレポート草稿の添削を行う。

12. (1)数学4  
(2)Kaisei English and Tourism Festival
13. (1)確認試験1  
(2)レポート作成:学生同士で交換し、互いのレポート草稿の添削を行う。
14. (1)確認試験2  
(2)レポート作成:教員からの添削をもとにレポートを完成する。
15. (1)確認試験3  
(2)教員からの添削をもとにレポートを完成し、提出する。

### 授業の方法

演習形式

### 準備学修

テキストでしっかり、予習・復習すること。eラーニングを活用すること。準備学習には60時間以上かけること。

### 課題・評価方法

平常点70%、定期試験30%

### 欠席について

3分の1以上欠席した者には受験資格を認めない。

### テキスト

一般常識リメディアルテキスト (育仲社)

### 留意事項

リメディアル学習の確認試験では、原則として80点以上を盗らなければ不合格とする。欠席1回につき、合格点を1点上げる。eラーニングを課題とし、指定された箇所まで進んでいなければ単位を認めない。教学カルテも評価対象とする。

### 教員連絡先

ozaki@kaisei.ac.jp

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

|                  |     |    |              |      |     |      |
|------------------|-----|----|--------------|------|-----|------|
| 専門分野科目〈こどもの生活世界〉 | クラス |    | 科目コード        | 配当年次 | 期 間 | 人数制限 |
| 教育相談(カウンセリングを含む) | 教職小 |    | 17497        | Ⅲ    | 春   |      |
| 担当者名             | 区分  | 単位 | 科目と関係のある実務経験 |      |     |      |
| 濱田 誠二郎           | 選択  | 2  | 学校心理士、公立小教員  |      |     |      |

### 授業の到達目標

幼児、児童及び生徒の心身の発達や学習の過程について、基礎的な知識を身に付ける。代表的な研究者の理論に基づく日常的な具体例を取り上げ、発達を踏まえた主体的な学習活動を支える指導の基本的な考え方を理解する。  
このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI（知性）とE（倫理）の育成を目指す。

### 授業の概要

教育課程上の様々な場面に現れる課題、主に幼児期・児童期における乗り越えるべき課題を心理学的な切り口で捉える。子どもの健やかな成長のために、発達・学習・人格・適応・保育者との関係性・特別支援教育等の現状と課題などを体系的に学ぶ。

### 授業計画

1. 幼児、児童及び生徒の心身の発達に関するエリクソンの理論と方法
2. 幼児、児童及び生徒の心身の発達に関するピアジェの理論と方法
3. 幼児、児童及び生徒の心身の発達に関する道徳的なコールバーグの理論と方法
4. 幼児期から青年期において、社会性の発達
5. 幼児期から青年期における現代の発達課題
6. 認知発達、認知機構の変遷
7. 主体的な学びの開発と体系化
8. 主体的、対話的で深い学びの実践例
9. 学習内容、発達に応じた適切な学習形態
10. 動機づけ、意欲を引き出す学習形態の在り方に関する事例研究
11. 主体的な学習の成果を的確に捉えた評価
12. 学習成果の可視化
13. 主体的な学習、思考力を育む学習集団
14. 発達障害の理解と支援
15. まとめと振り返り

### 授業の方法

講義が中心ではあるが、時には双方向のコミュニケーションを採り入れて、各自の考えを交流しながら進める。

### 準備学修

各自の幼児期・学童期を振り返り、良かった支援や今でも疑問に思えることを整理しておくこと。

### 課題・評価方法

平常点50%、定期試験50%

### 欠席について

学内規定に準ずる

### テキスト

必要な場合、授業時に指示する。

### 参考図書

授業中に紹介する

### 留意事項

マスコミでとり上げられる子どもに関する記事に興味・関心を持っておく。

### 教員連絡先

shamada@kaisei.ac.jp

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

|               |     |    |              |      |     |      |
|---------------|-----|----|--------------|------|-----|------|
| 関連科目〈こども関連科目〉 | クラス |    | 科目コード        | 配当年次 | 期 間 | 人数制限 |
| 子育て支援と地域社会    |     |    | 17501        | Ⅲ    | 秋   |      |
| 担当者名          | 区分  | 単位 | 科目と関係のある実務経験 |      |     |      |
| 石島 多恵         | 選択  | 2  | 公立保育所保育士     |      |     |      |

### 授業の到達目標

子育て支援とは何か。子育て支援に対する保育者の役割がこれまでになく明確化される中で、幼稚園や保育所はどのような子育て支援ができるのか、保育所や地域社会での子育て支援に積極的に取り組んでいける実践力のある教諭、保育士を目指す。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とS（奉仕）を考え、I（知性）を養います。

### 授業の概要

子育てを社会全体で支える「子ども・子育て支援新制度」がスタートし、幼稚園・保育所・地域で子育て支援が盛んに行われている状況の中、子育て支援とは何かを考え、保育者を目ざしている学生が、地域社会で取り組まれている様々な子育て支援の実状を知り、なぜ子育て支援が必要なのか、親子が求めている支援とは何かを考え、親子が育ちあうような子育て支援のあり方を学習する。また、子育て支援の実践の場にも積極的に参加し体験する。

### 授業計画

1. 子育て支援とは何か。(DVD視聴「子育て支援とは」)
2. 子育て支援の意義(1)
3. 子育て支援の意義(2)
4. 地域子育て支援センターの役割
5. 子育て支援の基本的姿勢と基本的技術
6. 地域子育て支援事業拠点における支援
7. 地域社会での子育て支援の取り組みへの見学と参加(1)
8. 地域社会での子育て支援の取り組みへの見学と参加(2)
9. 地域社会での子育て支援の取り組みへの見学と参加(3)
10. 幼稚園での子育て支援の取り組み
11. 保育所での子育て支援の取り組み 保育所の子育て支援の実際
12. 家庭の役割、親子が求めている支援とは
13. 子育ての変化と子育て支援の必要性
14. 園内、園外との連携と社会資源 まとめ
15. 振り返り 試験

### 授業の方法

講義と演習を中心とし、実際体験によって理解を深める。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法

レポートの提出を求め、講義の中でフィードバックを行う。  
平常点70%、定期試験30%

### 欠席について

出席状況も成績評価の対象とする。

### テキスト

必要資料については、随時プリントを配布する。

### 参考図書

子育ての変貌と次世代育成支援 原田正文著  
世界に学ぼう！子育て支援 汐見稔幸著  
地域で子育て 渡辺頭一郎編著  
あそびうた大全集 永岡書店

### 留意事項

実際の支援の様子を見学・参加するフィールドワークを多く取り入れ、子育て支援の理解を深める。フィールドワークが多いので、授業計画についてはかなり変更がある為、日程については教務課の前に掲示するので、常に見ておく。受講者は子育て支援に関心のある者。また、子育て支援事業への参加については土曜日の実施もある。

### 教員連絡先

ishihata@kaisei.ac.jp

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

|              |     |    |              |      |     |      |
|--------------|-----|----|--------------|------|-----|------|
| 関連科目〈資格関連科目〉 | クラス |    | 科目コード        | 配当年次 | 期 間 | 人数制限 |
| 保育実習指導A      |     |    | 17811        | Ⅲ    | 春／秋 |      |
| 担当者名         | 区分  | 単位 | 科目と関係のある実務経験 |      |     |      |
| 石畠 多恵／渋谷 美智  | 選択  | 2  | 公立保育所保育士     |      |     |      |

## 〈児童福祉施設実習〉

### 授業の到達目標

保育実習の意義・目的および実習の内容を理解し、自らの課題を明確化する。なお実習を円滑に進めていくため実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解し、実習がより効果的に行えるようにする。また、子どもの人権と最善の利益、プライバシーなどの守秘義務について理解する。事後指導においては、自己評価を行い課題や学習目標を明確にする。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とS（奉仕）、E（倫理）を考える。

### 授業の概要

実習の意義・目的・方法を理解し、実習内容・心構え・実習記録の意義と記録の仕方について学ぶ。なお実習を受けるにあたり各教科の講義で得た知識をもとに「児童福祉施設とは」を理解し、機能や保育士の役割、子どもの理解、日々の子どもの生活や遊びの援助の仕方について習得し、保育現場での実践に結びつけられるようにする。事後指導では、自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にしていく。

### 授業計画

1. 実習の意義、目的、概要について理解する。
2. 各施設の役割と機能を理解する。①
3. 各施設の役割と機能を理解する。②
4. 施設実習の準備と心構えを理解する。①
5. 施設実習の準備と心構えを理解する。②
6. 実習における観察・記録・評価の仕方を理解する。
7. 実習記録の書き方を理解する。実践及び実習に関する諸手続
8. 実習についての心構え、留意事項などの確認（実習事後の御礼状の書き方なども含む）
9. 事後指導における実習の総括と自己評価、課題の明確化

### 授業の方法

講義・演習・実践により進める。

### 準備学修

webで参照すること。

実習施設についての概要を事前に調べる。手あそびを数多く知るようになり、絵本の読み聞かせの練習をしたりする。

### 課題・評価方法

授業出席状況・諸提出物・実習記録などにより評価する。定期試験は実施しない。

### 欠席について

欠席は、1回につき5点減点とする。

### テキスト

必要資料については随時プリントを配布する。

### 参考図書

あそびうた大全集 永岡書店  
手あそび百科 ひかりのくに  
実習の記録と指導案 ひかりのくに  
3. 4. 5歳児が夢中になる実践！造形遊び ナツメ社

### 留意事項

実習を受けるまでに乳幼児の発達過程をしっかり把握し、保育実践の知識や技術をできるだけ多く身につけておく。

### 教員連絡先

ishihata@kaisei.ac.jp

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲掲示板を確認のこと。

## 〈保育所実習〉

### 授業の到達目標

保育所実習の意義・目的および実習の内容を理解し、自らの課題を明確化する。なお保育所実習を円滑に進めていくため実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解し、実習がより効果的に行えるようにする。また、子どもの人権と最善の利益、プライバシーなどの守秘義務について理解する。事後指導においては、「保育実習Ⅱ」に向けての課題や学習目標を明確にする。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とS（奉仕）、E（倫理）を考える。

### 授業の概要

保育所実習の意義・目的・方法を理解し、実習内容・心構え・実習記録の意義と記録の仕方について学ぶ。なお初めての保育所実習を受けるにあたり各教科の講義で得た知識をもとに「保育所とは」を理解し、保育所の機能や保育士の役割、子どもの理解、日々の子どもの生活や遊びの援助の仕方について習得し、保育現場での実践に結びつけられるようにする。事後指導では、「保育実習Ⅰ」の総括と自己評価を行い、「保育実習Ⅱ」に向けての新たな課題や学習目標を明確にし、より「保育実習Ⅱ」が効果的に行えるようにする。

### 授業計画

1. 保育所実習の意義・目的・概要について理解する
2. 保育所の役割と機能を理解する
3. 発達過程の理解を深める
4. 保育の計画について再認識し、理解を深める 実習指導案の書き方を知る
5. 保育内容の実践
6. 実習生個人票の作成およびオリエンテーションの受け方、事務手続について理解する
7. 実習記録の書き方を知る
8. 実習に際しての心構え、留意事項（事後の実習園に対するお礼状の書き方等含む）
9. 事後指導における実習の総括と自己評価・課題の明確化

### 授業の方法

講義・演習・実践により進める。

### 準備学修

webで参照すること。

### 課題・評価方法

授業出席状況・諸提出物・実習記録などにより評価する。定期試験は実施しない。

### 欠席について

欠席は、1回につき5点減点とする。

### テキスト

保育実習指導の手引き（海星版）  
必要資料については随時プリントを配布する。

### 参考図書

あそびうた大全集 永岡書店  
手あそび百科 ひかりのくに  
実習の記録と指導案 ひかりのくに  
3. 4. 5歳児が夢中になる実践！造形遊び ナツメ社

### 留意事項

実習を受けるまでに乳幼児の発達過程をしっかり把握し、保育実践の知識や技術をできるだけ多く身につけておく（絵本の読み聞かせ・制作・手あそび・歌など）

### 教員連絡先

shibuya@kaisei.ac.jp

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲掲示板を確認のこと。